

(様式第7号)

おおさかグローバル奨学金留学報告

2013年 11月 11日

学 校 名		奨 学 金 交 付 年 度	2013年度
氏 名			
留 学 期 間	平成23年 3月 27日 ~ 24年 3月 末日		
留 学 先	国 名	ベトナム社会主 義共和国	学校名 ホンバーン国際大学
専 攻	ベトナム語専攻		

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

私は3月末からベトナムへ来て6ヶ月が経ちました。6ヶ月間の留学生活はあっという間に過ぎてしまいました。この6ヶ月間の留学生活について述べたいと思います。

留学当初は驚きと戸惑いの連続でした。そのなかでも一番の衝撃はホンバーン大学では留学生もベトナム人と一緒に勉強をできると聞いていたのですが、先生が忙しいことや留学生用のプログラムが新設されたこともあり、カンボジア人と一緒に別の校舎で勉強することになったことです。今では24人のカンボジア人と日本人は私を含め2人で勉強しています。一緒に勉強しているカンボジア人はベトナムでの生活がすでに一年以上経っており、私がベトナムに来た当初からいろいろなベトナム人と円滑にコミュニケーションがとれ、ベトナム語の授業も難なくこなせていました。授業ではベトナム人の先生がベトナム語のみを使って行います。授業はベトナム語がペラペラのカンボジア人に合わせて行われます。そのため来た当初はまったく授業についていくことができませんでした。日本である程度勉強はしているので、辞書を使えば、読み書きはできたのですが、聞き取りがまったくできませんでした。授業中に何を指示されているかもわからず、カンボジア人に助けってもらってばかりでした。来た当初はベトナム人と学べないことに戸惑いを感じましたが、自分よりベトナム語ができる人たちに囲まれて一緒に授業を受けることができおり、何よりも、素敵なカンボジア人と出会えたので、今ではよかったと思っています。授業は朝の7時30分から11時ごろまで午後は13時30分から16時ごろまで一学期は日曜以外のほとんどの日に授業がありました。授業はベトナム語の読む、話す、書く、

聞くのほかにベトナムの芸術の授業や東洋医学の授業やベトナム料理の調理実習などほかの大学では体験できなかったであろういろいろな授業に参加させてもらいました。また、学期末には各教科のテストも受けました。授業の他にも学校のいろいろな行事に参加させてもらいソーラン節を踊るなどして日本の文化を紹介したりもしました。

普段の生活面でもはじめてのことばかりでした。ベトナムの中でホーチミン市が一番都会です。それでも中心地以外は東南アジアの町並みです。私は中心地からバスで1時間弱程のところにある学校の寮に住んでいます。毎日の食事は寮に台所がないため、外食しています。昼は大学の食堂で食べ、夜は屋台などで食べています。日本人にとっては衛生面が良いとは言いがたく、まだ暑さになれていなかったこともあり、来た当初は体調をくずすこともありました。食べ物のほかにも、道路は日本ほど舗装されておらず大量のバイクで道はあふれ、バスもはじめは乗り方がわかりませんでした。いろいろな人から日本とは違うたくさんの方のことを教えてもらい徐々に生活に慣れることができたと思います。

日本でベトナム語は北部ハノイのいわゆる標準語を習っていたこともあり、南部ホーチミンなまりのベトナム語を聞き取ることがはじめはまったくできませんでした。また生活面で必要な単語をほとんど知らなかったのが初めてのころは当たり前のことですが単語を覚えないと円滑に会話ができないことを身にしみて感じました。話された単語がわからないので、いちいち会話がとまってしまいました。それ以来小さなノートをどこに行くときでも必ず持ち歩き、知らない単語に出会ったときは必ずメモするようになりました。そして少しでも多くの単語を頭に入れることができるように心がけました。来た当初の1ヶ月間は授業がなかったこともあり、留学がスタートして3ヶ月経った後もベトナム語を聞き取ることがあまりできず、話すことも最低限のことしかできないでいました。このままではいけないと感じ、それまで以上に休みの日にも積極的に外へ出かけたり、一人で中心地をいろいろまわったりして、生のベトナム語に触れる機会を増やそうと努力しました。また、ベトナム語のうまいカンボジア人に平日の夜、毎晩1時間ベトナム語の授業をしてもらったりしました。日曜日には日本語を勉強しているベトナム人が集まる日本語クラブに参加して、私は日本語を彼らに教え、私はベトナム語を彼らに教えてもらったりもしました。

そのかいもあり、今でははじめはまったくついていけなかった授業も大体のことはわかるようになりました。ある程度言葉がわかると、言葉だけではなく、ベトナムの文化や習慣についても興味を持ち、考える余裕ができてきました。夏休みにはホーチミンだけではなく、ベトナムの首都であるハノイや中部にあるフエやホイアンも訪れ、世界遺産など歴史的な建築物なども見学しました。来た当初と比べると語学力やベトナムで生活していく力も成長できたと実感できるのですが、まだベトナム語がペラペラとはとてもいいがたい

ので、少しでも話せるようになり、現地でしか学べないようなことをたくさん吸収したいです。そのためにも、残りの留学生活も悔いが残らないようにこれまで以上にがんばって一日一日を大切にしたいです。

※上記の内容については、公表される場合があることを了承します。